



家庭用 コーヒーメーカー

# 取扱説明書

品番：ACQ-X 型

保証書つき

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。  
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。  
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



**GX**  
GRAND X

この製品は日本国内交流 100V 専用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、海外でのアフターサービスもできません。

This product uses only 100 V (volts), which is specifically designed for use in Japan. It cannot be used in other countries with different voltage, power frequency requirements, or receive after-sales service abroad.

本产品仅限于日本国内的 100V 交流电压下使用。不可在日本之外的国家的不同电压和电源频率下使用。在海外也不提供售后服务。

製品アンケートにご協力ください。

<http://enq.tiger.jp/web/33009/top/>  
アンケート ID : 1726ACQX





# 安全上のご注意

必ずお守りください

- ◆ お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- ◆ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、以下の区分で説明しています。

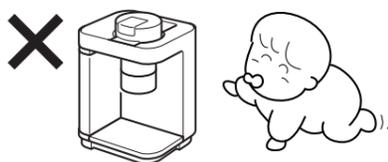
 <b>警告</b> 死亡や重傷を負うことが想定される内容です。	 <b>注意</b> 傷害を負うことが想定される、または物的損害の発生が想定される内容です。
図記号の説明	
 してはいけない「禁止」内容です。	 実行しなければならない「指示」内容です。

※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。

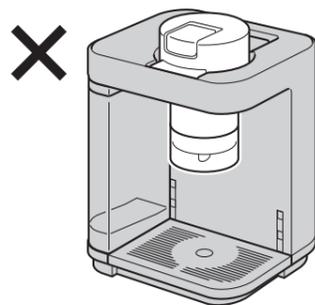
## 乳幼児には特に注意

### 警告

-  **子どもだけで使わせたり、乳幼児の手が届くところで使わない。**  
やけど・感電・けがのおそれ。



-  **使用中や使用後しばらくは高温部(本体上部・本体ふた・抽出口・シリンダー・シリンダー下・メッシュフィルターなど)にさわったり、顔などを近づけない。**  
やけどをするおそれ。特に乳幼児には、さわらせないように注意する。



## 異常・故障時は

### 警告

-  **すぐに差込プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼する。**  
そのまま使用すると、感電・けがのおそれ。火災の原因。  
〈異常・故障例〉
  - ・ご使用中、電源コード、差込プラグが異常に熱くなる。
  - ・電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。
  - ・水タンクや本体から水もれする。
  - ・その他の異常や故障がある。

## 改造はしない

### 警告

-  **修理技術者以外の方は、分解したり、修理をしない。**  
感電・けがのおそれ。火災の原因。  
修理は、販売店または「連絡先→裏表紙」に記載のタイガーお客様ご相談窓口にご連絡ください。

## 使用する場所に注意

### 注意

-  **次のような場所では使わない。**
  - ・不安定な場所
  - ・火気の近く
  - ・水のかかりやすい場所
  - ・底部がぬれるようなところ
  - ・直射日光が長時間あたる場所
  - ・壁や家具の近く
  - ・熱に弱いテーブルや敷物などの上
  - ・アルミシートや電気カーペットの上
  - ・カーペット・ビニール袋などの上
  - ・室温の高い場所
  - ・IHクッキングヒーターの上
 感電や漏電のおそれ。火災・ショート・発火・故障の原因。本体の変形、またはテーブル・敷物・壁・家具の変色・変形の原因。

-  **キッチン用収納棚(スライド式テーブル)を使うときは、下記に注意する。**
  - ・中に蒸気がこもらないようにする。
  - ・操作部に大量の蒸気があたらないようにする。
  - ・差込プラグに蒸気があたらないようにする。
  - ・スライド式テーブルは、蒸気があたらないように引き出して使う。
  - ・置く場所の耐荷重を確認してから使う。
 感電・けが・やけどのおそれ。火災・発火・傷み・変色・変形・故障の原因。

## 使用中・使用後は

### 注意

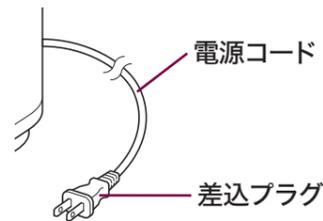
-  **倒したり落としたりぶつかけたり、強い衝撃を与えない。**  
本体・本体ふた・水タンク・水タンクふた・揚水パイプ・シリンダー・トレイカバー・トレイなどが破損してけがをするおそれ。故障の原因。
-  **カップをトレイにセットしていない状態で使わない。**  
やけどのおそれ。故障の原因。

-  **抽出中にカップなどをはずさない。**  
やけどのおそれ。テーブル・敷物を汚す原因。
-  **カップなどをのせたまま本体を動かさない。**  
やけど・けがのおそれ。
-  **極細挽きのコーヒー粉は使わない。**  
メッシュフィルターが目詰まりし、コーヒーがあふれてやけどのおそれ。
-  **続けて使用するときは、本体の熱が冷めるまで待つ。**  
本体が熱い状態で水を入れて動かすと、蒸気が噴出してやけどをするおそれ。
-  **お手入れは冷えてから行う。**  
抽出口・本体ふた・メッシュフィルターなどにふれると、やけどのおそれ。

## 末長くご使用いただくためのご注意

- **シリンダー・シリンダー下・本体ふたパッキン・シリンダーパッキン(→P.16)は、使うたびにお手入れする。**  
においの原因。
- **食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸しない。**  
変形・破損の原因。
- **ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は、よりこまめにお手入れする。**  
本体内部にカルシウム分が付着しやすくなったり、また、付着したカルシウム分がはがれて本体内のお湯や蒸気の出口をふさぐなど、故障の原因。
- **業務用として使わない。**  
故障の原因。

電源コード・差込プラグ



⚠ 警告



次のような使いかたをしない。

- 交流100V以外での使用。  
(日本国内100V専用)
- タコ足配線での使用。  
(定格15A以上のコンセントを単独で使う)
- 電源コードが破損したままや傷つくような使用。  
(加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど)
- 差込プラグにほこりが付着したり、傷んだままでの使用。
- 差込プラグを根元まで確実に差し込んでいなかったり、コンセントの差し込みがゆるいままでの使用。
- ぬれた手で差込プラグの抜き差し。  
感電・けがのおそれ。  
火災・ショート・発煙・発火の原因。  
破損した場合は、販売店または「連絡先→裏表紙」に記載のタイガーお客様相談窓口まで修理をご依頼ください。



ぬれ手禁止

⚠ 注意



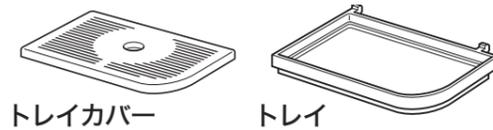
プラグを抜く



必ず実施

- 使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜く。
  - 必ず差込プラグを持って引き抜く。
- けが・やけどのおそれ。  
感電・ショート・発火・漏電火災の原因。

トレイ・トレイカバー

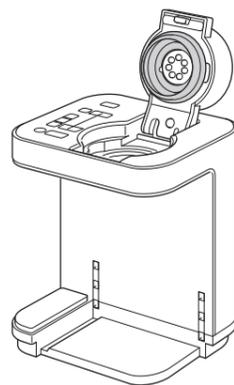


⚠ 注意



トレイをはずして使わない。  
やけどのおそれ。  
テーブル・敷物を汚す原因。

本体



⚠ 警告



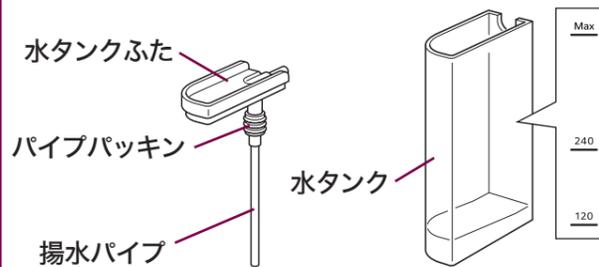
本体は、水につけたり、水をかけたりしない。  
感電のおそれ。ショートの原因。

⚠ 注意



本体を丸洗いしたり、本体内部や底部に水を入れたりしない。  
感電のおそれ。ショートの原因。

水タンク



⚠ 注意



水タンクに水が入っていない状態で通電しない。  
火災・故障の原因。

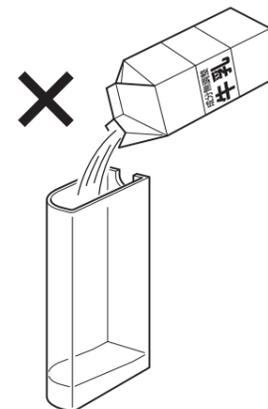


抽出中は、水タンクをはずさない。  
やけどのおそれ。水もれ・故障の原因。

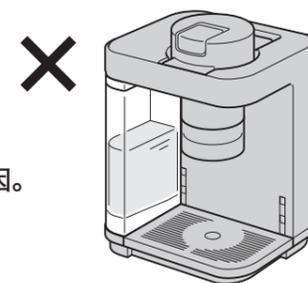
末長くご使用いただくためのご注意

- 最小使用水量(目盛120未満)、最大使用水量(目盛Max)を超える量の水を入れない。

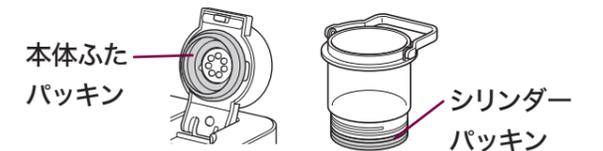
- 水タンクに水以外のものを入れない。  
故障の原因。



- 水タンクに水を入れたまま放置しない。  
故障・変色・におい・腐敗の原因。



パッキン



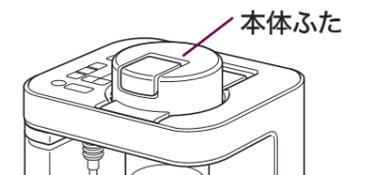
⚠ 注意



必ず実施

本体ふたパッキンとシリンダーパッキンは必ずセットして使用する。  
やけどのおそれ。故障の原因。

本体ふた



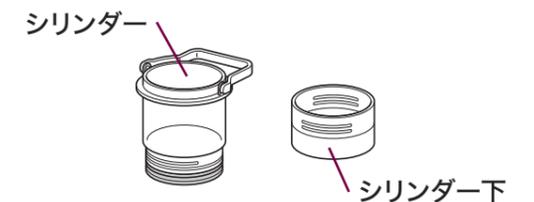
⚠ 注意



禁止

抽出中・抽出直後・電源を切った直後は、本体ふたを開けない。  
お湯や蒸気が出て、やけどをするおそれ。

シリンダー



⚠ 注意



禁止

シリンダー下をはずして抽出しない。  
お湯の飛び散り・やけどのおそれ。



必ず実施

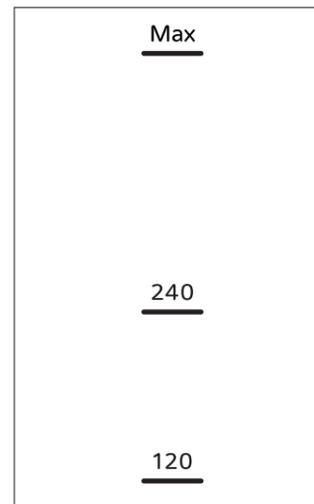
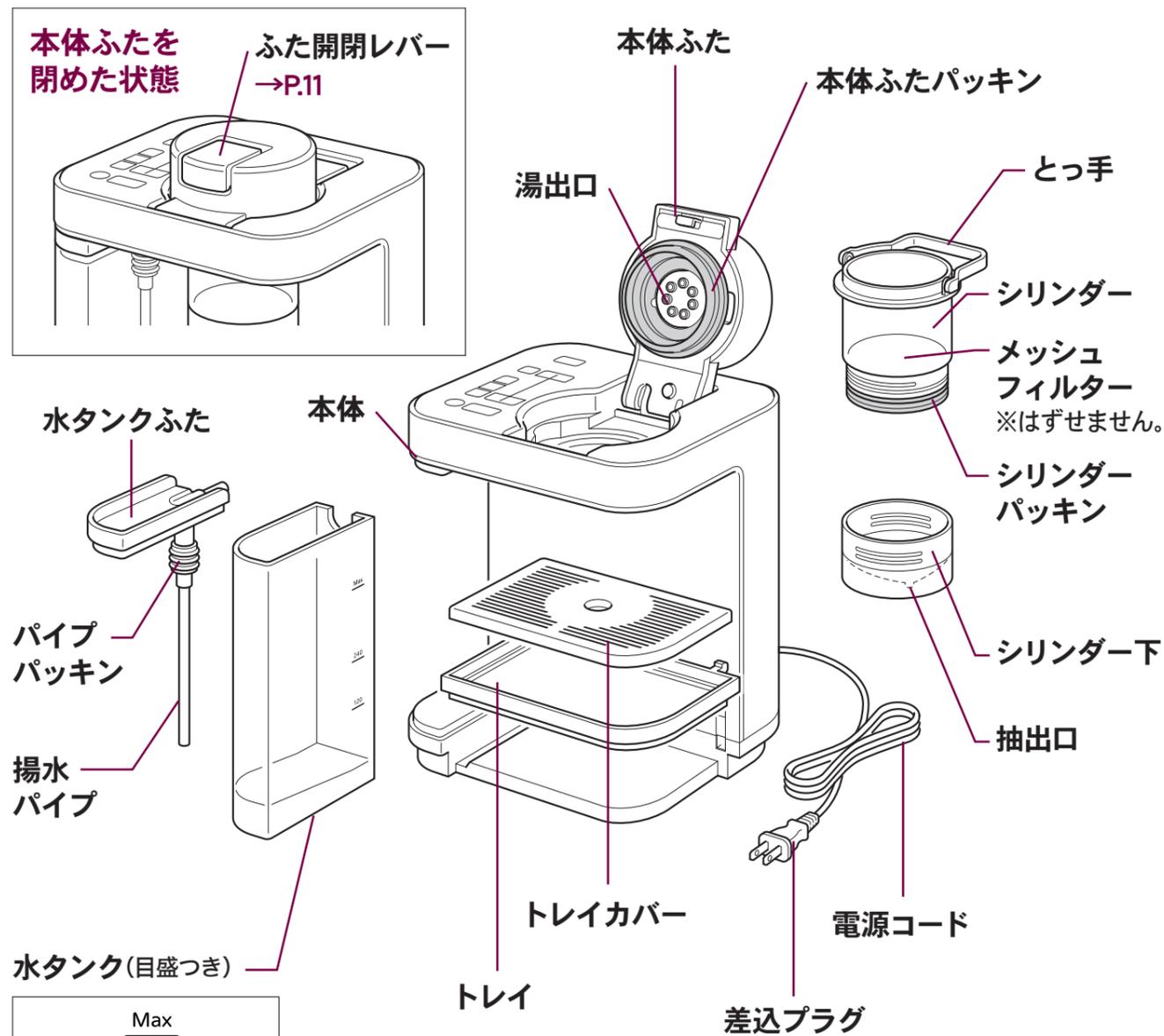
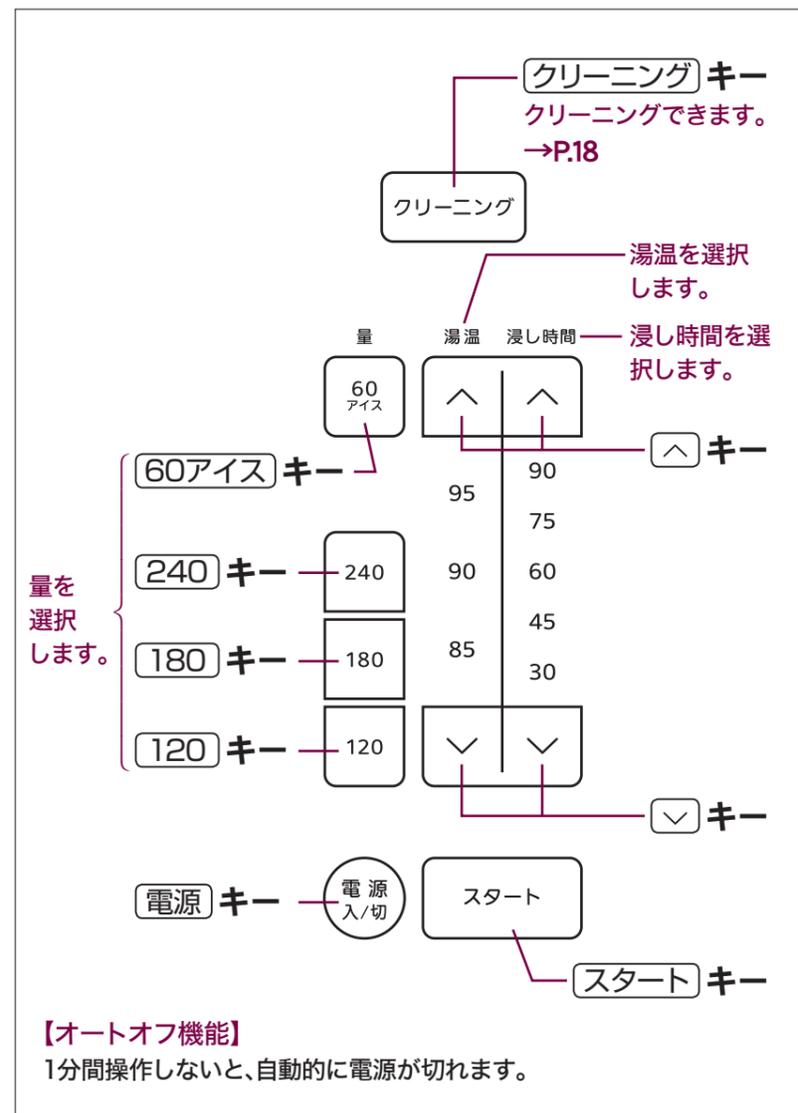
シリンダーを取り出すときは、熱いので注意する。  
やけどのおそれ。

# 各部のなままと付属品

箱を開けたら、  
まず確認しましょう！



## 操作部



※水タンクの目盛は、抽出に必要な容量を示しています。

**付属品**

計量スプーン…1個

すり切り1杯 約10g

# はじめて使うとき しばらく使わなかったとき

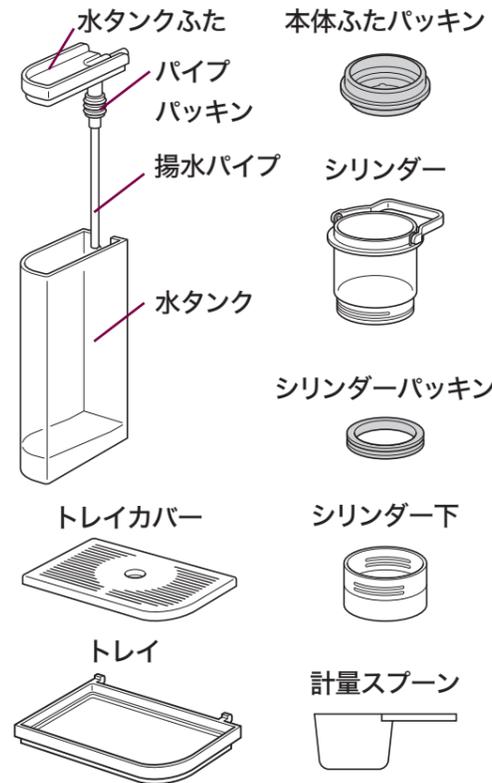
コーヒーマーカーをきれいにするのが、  
おいしいコーヒーづくりの第一歩！



## 1

### 本体以外の部品を洗う。

→P.16・17



## 2

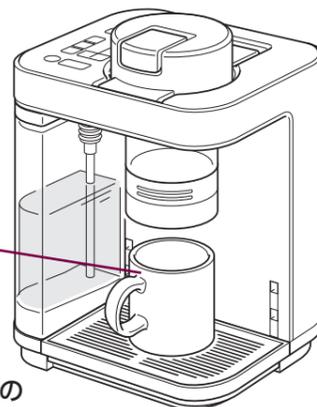
### 水タンクに水を入れ、 本体内を洗浄するために、 1～2回抽出する。

→P.12～15

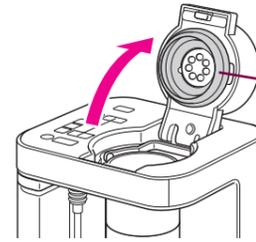
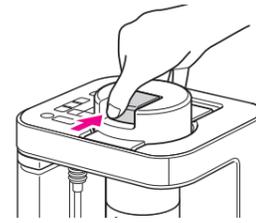
コーヒー粉は、セットしない。マグカップなど  
にたまったお湯はすてる。

※シリンダーをセットしないと、動作は開始  
しません。

280mL以上の  
マグカップを  
トレイの中央  
位置に置く  
※高さ9cm以上の  
マグカップは使用できません。



### 本体ふたの開けた

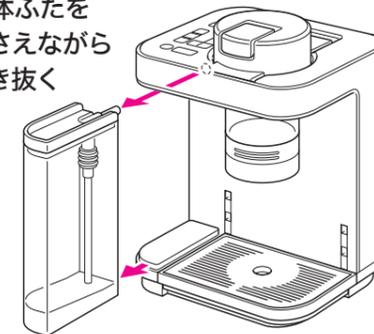


※本体ふたパッキンがはずれたときは、  
必ずセットする。→P.16

### 水タンクのはずしかた・つけた

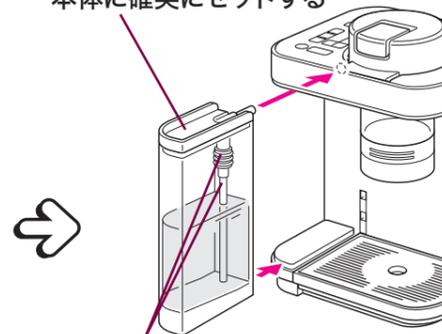
◆はずしかた

本体ふたを  
押さえながら  
引き抜く



◆つけた

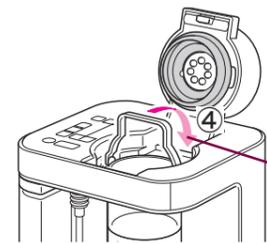
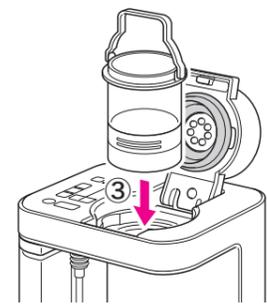
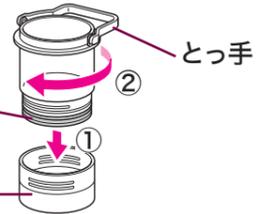
水タンクふたをしめ  
本体に確実にセットする



パイプパッキンと揚水パイプが確実に  
セットされていることを確認する

### シリンダー・シリンダー下のつけた

シリンダー  
パッキンが  
ついていること  
を確認する  
→P.16



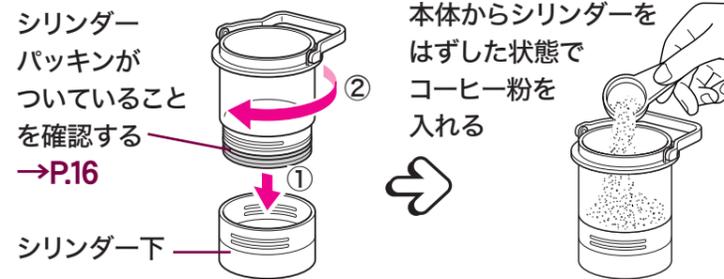
とっ手は必ず本体  
ふたヒンジ部側に  
倒す

# ホットコーヒーをいれる アイスコーヒーをつくる

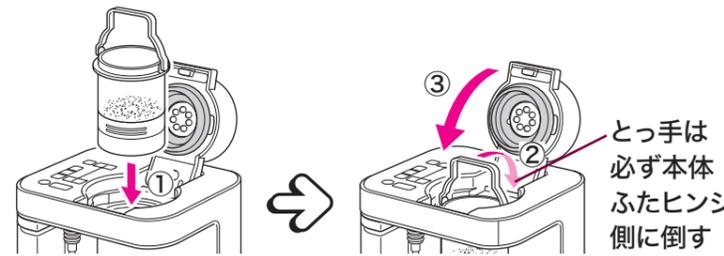
タイガープレス方式



**1** シリンダーとシリンダー下をセットし、付属の計量スプーンで、コーヒー粉を入れて上面をならす。

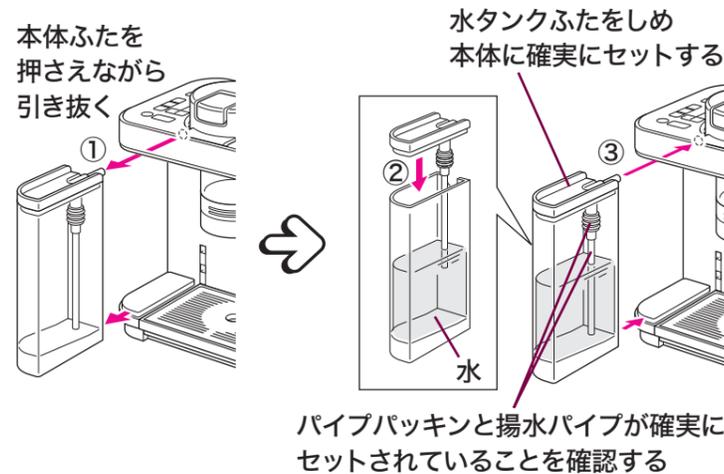


**2** シリンダーを本体にセットし、本体ふたを閉める。

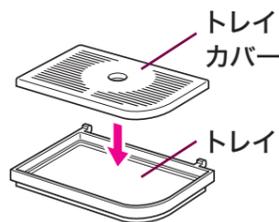


**3** 水タンクに水を入れて水タンクふたをしめ、本体にセットする。

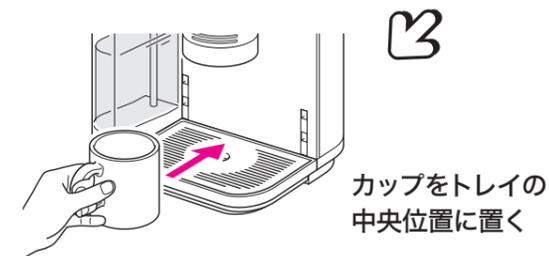
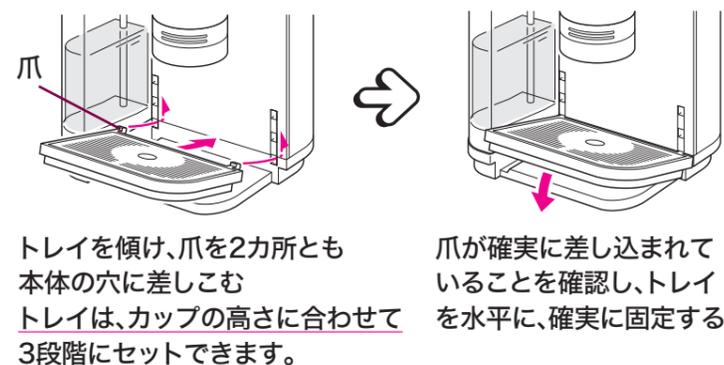
水タンクの日盛	Max
120 ~ Maxの間に、水を入れる。	
※設定する抽出量以上の水を入れる。	240
180mLの場合は、目盛240付近まで水を入れる。	120



**4** トレイにトレイカバーをのせ、本体に取りつけた後、マグカップなどをセットする。



※高さ調整したトレイに強い力を加えない。爪が破損するおそれ。



## コーヒー粉を入れる目安

- ◆ コーヒー粉はお好みにより加減してください。
- ◆ あふれるおそれがあるため、計量スプーンすり切り2杯以上は入れないでください。
- ◆ アイスコーヒーをつくる時は、アイス用コーヒー粉を使います。

抽出量 (1杯分)	コーヒー粉 (計量スプーンすり切り)
240mL	2杯
180mL	1.5杯
120mL	1杯
60mL (アイス用)	1杯

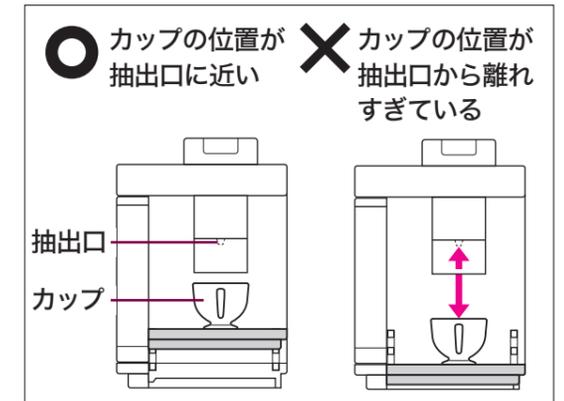
※すり切り2杯以上は入れない。あふれるおそれ。

## 水タンクには水を入れる

お湯や熱湯を入れて抽出すると、故障の原因。

## トレイのセット位置について

カップの上端が抽出口から離れすぎないように、トレイをセットします。離して抽出すると、コーヒーが飛び散り、やけどや汚れのおそれ。



## 熱めのコーヒーをお好みの方は

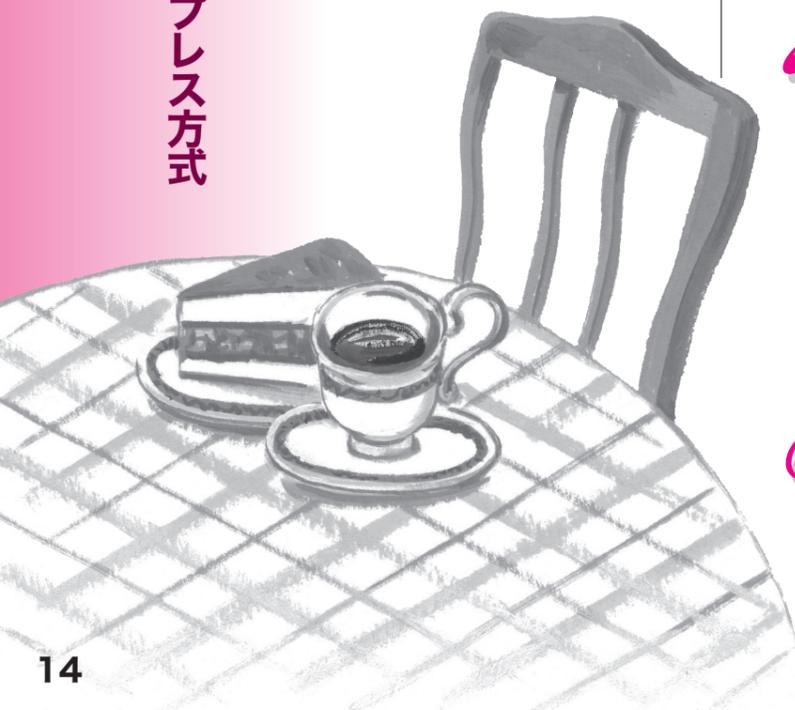
あらかじめ熱湯などで温めておいたカップに抽出する。→P.5

## ご注意

- ◆ シリンダーパッキングは、必ずシリンダーに取り付ける。コーヒーがあふれて、やけどのおそれ。
- ◆ 本体ふたは、必ずしめる。お湯や蒸気が出てやけどのおそれ。
- ◆ 極細挽きのコーヒー粉は使わない。メッシュフィルターが目詰まりし、コーヒーがあふれてやけどのおそれ。中細挽き以上の粗さのコーヒー粉を使う。
- ◆ 熱に弱い素材のカップは使用しない (耐熱温度120度以上のもの)。変形のおそれ。
- ◆ トレイやカップは確実にセットする。
- ◆ カップの形状や置きかたによっては、コーヒーが飛び散るおそれ。

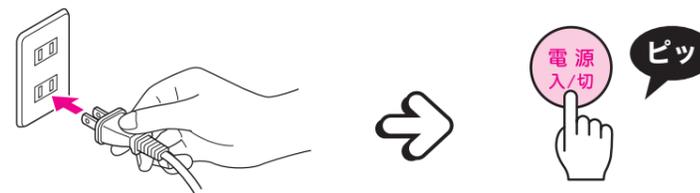
# ホットコーヒーをいれる アイスコーヒーをつくる

タイガープレス方式



## 5

差込プラグをコンセントに差し込み、**電源** キーをタッチする。



## 6

お好みで、量・湯温・浸し時間の順に選び、**スタート** キーをタッチする。

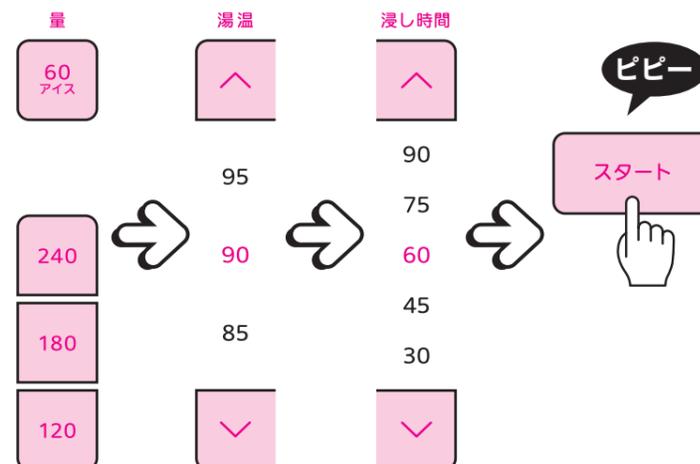
①【量の選択】  
240mL・180mL・120mL・60mL(アイス用)から選べます。  
[240] [180] [120] [60アイス] キーのいずれかをタッチする。

②【湯温の選択】  
95度・90度・85度から選べます。  
[上] [下] キーをタッチして選ぶ。(選んだ湯温が点灯)

③【浸し時間の選択】  
90秒・75秒・60秒・45秒・30秒から選べます。  
[上] [下] キーをタッチして選ぶ。(選んだ浸し時間が点灯)  
※一度選択した湯温・浸し時間の設定は、差込プラグを抜いた後も記憶されます。

④【抽出スタート】  
[スタート] キーをタッチする。  
[スタート] キーの点滅が点灯に変わったら、抽出開始。

①【量の選択】 ②【湯温の選択】 ③【浸し時間の選択】 ④【抽出スタート】

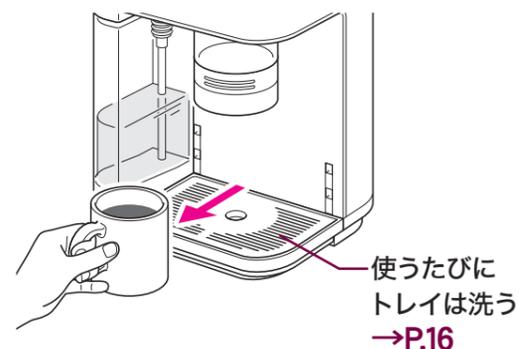


※「量」「浸し時間」は目安です。  
※「湯温」は抽湯温度のことです。  
※コーヒーの抽出開始後、シリンダーからポタポタと抽出液が落ちることがありますが、コーヒーの酸味のおいしい成分を出すための動作で、故障ではありません。  
※[スタート] キーをタッチした後、途中で中止する場合は、[電源] キーをタッチしてください。(通電切になります)

## 7

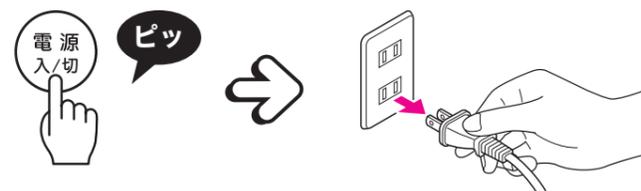
ピーピーピーと鳴ったら、できあがり。マグカップなどを取り出す。

コーヒーや蒸気が完全に止まってから取り出す。



## 8

使用後は電源を切り、差込プラグをコンセントから抜く。



### 量・湯温・浸し時間の選びかた

抽湯温度を高く、浸し時間を長く設定すると、コクと苦味が愉しめます。逆に抽湯温度を低く、浸し時間を短く設定すると、コーヒー豆の持つフルーティな酸味とスッキリ感が愉しめます。(コーヒー豆の種類によって、異なる場合があります)

浸し時間(秒)	強い ← 酸味 → 弱い		
	85度	90度	95度
30	●	●	●
45	●	●	●
60	●	●	●
75	●	●	●
90	●	●	●

弱 ← 苦味 → 強

### アイスコーヒーをつくる時

- ① [60アイス] キーをタッチする。
- ② お好みの温度と浸し時間を選ぶ。
- ③ コーヒーを抽出した後、カップに氷を入れる。

### 抽出後のコーヒー粉は取り出す

冷めてから、本体ふたを開けて、シリンダーを取り出します。

### 続けてつくる時

- ① 本体が冷めるまで待ちます。
- ② 必ず先にマグカップなどをセットしてから、再度、[スタート] キーをタッチします。

### できあがり時間の目安

ホットのとき3分30秒～6分40秒、アイスの場合2分40秒～3分50秒でできあがります。  
※できあがり時間は、選択した設定により変わります。

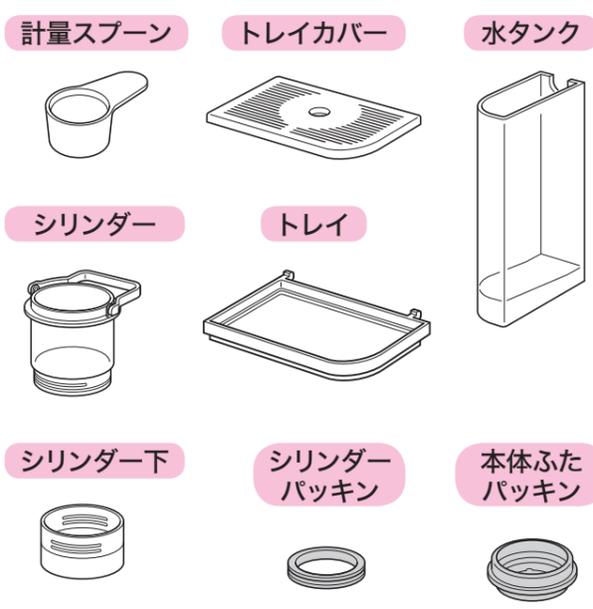
### ご注意

- ◆ 抽出中・抽出直後・電源を切った直後は本体ふたを開けない。湯出口からお湯や蒸気が出て、やけどのおそれ。
- ◆ 設定した抽出量より水タンク内の水が少ない場合、抽出が途中で停止し、シリンダー内にお湯が残ることがあります。

# お手入れする

- ◆ 差込プラグを抜き、冷えてからお手入れします。
- ◆ 洗剤でお手入れするときは、台所用合成洗剤（食器用・調理器具用）を使います。
- ◆ スポンジ・歯ブラシ・布はやわらかいものを使います。
- ◆ 抽出後のコーヒー粉は、冷めてから本体ふたを開け、シリンダーを取り出してすてます。

## 使うたびに洗う部品

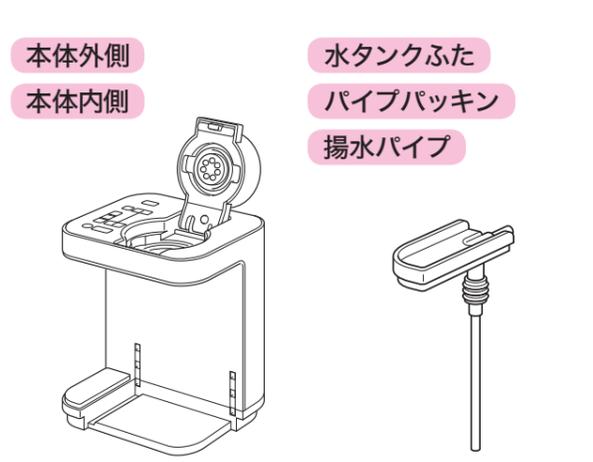


- 1 洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジや歯ブラシを使って洗い、水ですすぐ。
- 2 乾いた布で水分をふき取り、十分に乾燥させる。

### ご注意

- ◆ シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
- ◆ 食器洗浄機や食器乾燥器、熱湯などは使わない。

## 汚れるたびにお手入れする箇所



- 1 本体内側は、お湯に布を浸し、かたくしぼってふく。（洗剤は、使わない。）
- 2 本体外側は、洗剤をうすめたお湯に布を浸し、かたくしぼってふく。
- 3 水タンクふた・パイプパッキン・揚水パイプは、洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジや歯ブラシを使って洗い、水ですすぐ。
- 4 乾いた布で、水分・洗剤分をふき取り、十分に乾燥させる。

- 電源コード
- 差込プラグ

乾いた布でふく。

### ご注意

本体を水につけたり、水をかけたりしない。

**クエン酸のお買い求めについて**  
お買い上げの販売店、または、「連絡先」(→裏表紙)に記載のタイガーお客様ご相談窓口、消耗品・別売品のご購入サイトでお買い求めください。

品名	電気ポット内容器洗浄用クエン酸 (約30g×4包入り)
品番	PKS-0120

※クエン酸は、食品添加物として使用されており、食品衛生上無害です。

## お湯の出具合が悪くなったとき お湯がおうとき (クエン酸を使って、ミネラル成分を取り除く)

- ① シリンダーとシリンダー下をセットする。(コーヒー粉は入れない) →P.11
- ② シリンダーを本体にセットする。 →P.11・13
- ③ 280mL以上のマグカップをセットする。
- ④ 水タンクにクエン酸 約10g(大さじ1杯)を入れ、水タンクの目盛Maxまで水を入れてまぜ、本体にセットする。 →P.12・13
- ⑤ 電源を入れ、**クリーニング**キーと**スタート**キーを同時に2秒以上タッチする。
- ⑥ 自動で電源が切れます。(水タンクに水が残ります)
- ⑦ 約10分たったら、水タンクに残ったクエン酸水をすてて、すすぐ。
- ⑧ マグカップのお湯をすてる。
- ⑨ クエン酸水のおいをとるために、水タンクに水を入れ、1～4回湯通しする。

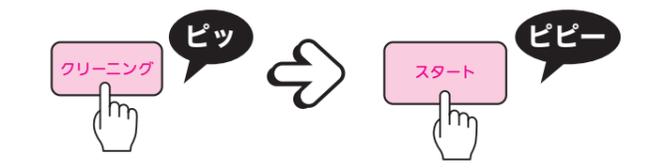


## 本体内部に残った水を排水する(クリーニング)

※必ず本体が冷めた状態で行ってください。

- クリーニングが必要な場合
- ◆ 使用後、しばらく使わないとき。
  - ◆ 前回使用してから、しばらく使わなかったとき。
  - ◆ ミネラルウォーターを使用している場合。

- ① シリンダーとシリンダー下をセットする。(コーヒー粉は入れない) →P.11
- ② シリンダーを本体にセットする。 →P.11・13
- ③ 280mL以上のマグカップをセットする。
- ④ 水タンクの目盛120まで水を入れて、本体にセットする。 →P.12・13
- ⑤ 電源を入れ、**クリーニング**キーをタッチした後**スタート**キーをタッチする。



- クリーニングランプが点灯に切り替わって、クリーニングを開始します。
- ⑥ クリーニングが終わったら（水がなくなったら）、ピーピーと鳴って、クリーニングランプが消灯し自動的に止まる。
  - ⑦ マグカップのお湯をすてる。
  - ⑧ 水タンクに水が残っている場合は水をすてる。

# 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、ご確認ください。

こんなとき	ご確認くださいこと	直し方	参照ページ
キーをタッチしても反応しない	差込プラグをコンセントに、差し込んでいますか。	差込プラグをコンセントに、差し込む。	14・15
お湯が出ない。	水タンクに水が入っていますか。	水タンクに水を入れる。	12・13
	水タンク・パイプパッキン・揚水パイプが確実にセットされていますか。	水タンク・パイプパッキン・揚水パイプを確実にセットする。	12・13
	湯出口に汚れが付着していませんか。	お手入れする。	16・17
	シリンダーのとっ手の向きを正しくセットしていますか。	シリンダーのとっ手を正しくセットする。	11・13
お湯の出具合が悪い。 (時間がいつもより長くなる)	—	クエン酸を使ってミネラル成分を取り除く。	17
お湯がにおう。	—	クエン酸を使ってミネラル成分を取り除く。	17
シリンダーからコーヒーがあふれる。	極細挽きのコーヒー粉を使っていませんか。	中細挽き以上の粗さのコーヒー粉を使う。	13
カップから飲みものがあふれる。	カップに合わせた抽出量を選択していますか。	カップに合わせた抽出量を選択する。	14・15
抽出中に本体ふたが開く。	本体ふたを確実に閉めていますか。	本体ふたを確実に閉める。	12・13
「ピピピ」と音が鳴って、動作が開始しない。	本体ふたが開いた状態、もしくはシリンダーをセットしない状態でキーをタッチしていませんか。	シリンダーをセットした状態で本体ふたを閉めてから、キーをタッチする。	13
コーヒーの抽出開始後、シリンダーからポタポタと抽出液が落ちる。	コーヒーの酸味のおいしい成分を出すための動作で、故障ではありません。		15
[電源入/切][スタート][120(量)][85(湯温)][30(浸し時間)]のランプが同時に点滅し、「ピピピ」と音が鳴って、動作が開始しない。	温度センサーの故障です。お買い上げの販売店、または修理に関するご案内・受付サイトに修理をご依頼ください。		裏表紙
全てのランプが同時に点滅し、「ピー」と音が鳴って、動作が開始しない。	ヒーターの故障です。お買い上げの販売店、または修理に関するご案内・受付サイトに修理をご依頼ください。		裏表紙
勝手に電源が切れる。	1分間操作しないと、自動で電源が切れます。		
コーヒーがぬるい。	寒冷地など、使用環境の厳しい状況では、カップを一度温めてから使用してください。		
本体上部が熱くなる。	本体上部にお湯が通るためです。故障ではありません。		
作動音や振動が大きい。	本体内のポンプで水をくみあげ、本体内に水を通す音です。故障ではありません。		
樹脂部品にキズ(欠け)のように見える箇所がある。	樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。		
樹脂などのにおいがする。	使いはじめのうちは、樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。		
揚水パイプから泡や空気が出る。	本体ふたを開閉すると、揚水パイプから泡や空気が出る場合がありますが故障ではありません。		

# 消耗品・別売品のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様相談窓口、消耗品・別売品のご購入サイト(→裏表紙)でお買い求めください。

## ◆樹脂部品(傷んできたとき)

熱や蒸気にふれる樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合がありますので交換してください。(有償修理)

## ◆パッキン・シリンダー(メッシュフィルター) (消耗品)

汚れやにおいがひどくなったり、破損したときは、上記でお買い求めください。

## 仕様

電源	消費電力 (W)	満水容量* (L)	外形寸法*(cm)			質量* (kg)	コードの長さ*(m)
			幅	奥行	高さ		
100V 50-60Hz	1000	0.54	22.6	19.9	29.8	3.1	1.25

\*印は、おおよその数値です。

## 保証とサービスについて

修理を依頼される前にまず「故障かな？と思ったら」→P. 18をご覧ください。それでも不具合の場合は、下記に基づき、お買い上げの販売店にご相談ください。

### 1 保証書の内容のご確認と保管のお願い

保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、「販売店印およびお買い上げ日」をご確認の上、内容をよくお読みになり、大切に保管してください。

### 2 保証期間はお買い上げの日から1年間です。(消耗品は除きます。)

保証書の記載内容に基づき、お買い上げの販売店が修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。

### 3 修理を依頼される時

- 保証期間内** … おそれいりますが、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。
- 保証期間を過ぎているとき** … まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ご相談の際、次のことをお知らせください。  
①製品名 ②品番 ③製品の状況(できるだけ詳しく)

### 4 コーヒーメーカーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 5 修理料金とは

修理料金とは、おもに技術料と部品代で構成されています。

- 技術料** … 不具合内容の原因を診断する作業、故障箇所を修復する作業(修理および部品交換・調整・修理後の点検など)の料金です。
- 部品代** … 製品の修復に使った部品の代金です。

### 6 その他製品に関するお問合せ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様相談窓口(→裏表紙)までご連絡ください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために、一部予告なく変更することがあります。